

2024年6月5日
一般社団法人八重洲二丁目北地区エリアマネジメント
東京ミッドタウンマネジメント株式会社

【6月は環境月間】

子どもと一緒に環境について考えるワークショップを実施 「夏至の夜を灯す、廃油キャンドルをつくろう」

東京ミッドタウン八重洲内の飲食店にて発生した廃油も活用

期間：2024年6月15日(土)、16日(日)

東京ミッドタウン八重洲（所在地：東京都中央区 管理者：三井不動産株式会社）では、環境月間をきっかけに子どもと一緒に環境について想いを馳せる機会の提供を目指し、株式会社クラダシ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：関藤竜也、以下「クラダシ」）の事業に賛同して、2024年6月15日(土)、16日(日)の2日間、廃油キャンドルをつくるワークショップを開催いたします。

本イベントでは東京ミッドタウン八重洲内の飲食店にて発生した廃油を活用したキャンドルづくりのほか、子どもたちが描いた“すきなたべもの”を「#おいちいプロジェクト」をつけてSNSに投稿することで日本自然保護協会へ寄付される「おいちいおえかき」を実施し、環境と向き合う機会の創出を目指します。

東京ミッドタウン八重洲は、“ジャパン・プレゼンテーション・フィールド”を施設コンセプトに掲げ、新しい価値を生み出し世界に向けて発信していく街づくりを目指すとともに、環境への取り組みも積極的に実施しています。そんな中、「ソーシャルグッドカンパニーでありつづける」をミッションに掲げ、持続的に社会課題の解決に取り組むクラダシの活動に共感し、この度東京ミッドタウン八重洲という場を提供し、イベント実施をサポートするに至りました。東京ミッドタウン八重洲で環境について楽しみながら考えるワークショップにぜひお越しください。

Kuradashi TOKYO MIDTOWN YAESU

子ども向け無料ワークショップ開催！！

夏至の夜を灯す、 廃油キャンドルをつくろう！

開催日 6/15(土) 6/16(日)
開催場所 東京ミッドタウン八重洲 1Fアトリウム

事前予約制、参加費無料



本ワークショップのポイント

- ✓ 東京ミッドタウン八重洲内の飲食店にて発生した廃油を活用したキャンドルづくり
↳ 廃油で作ったキャンドルに火を灯し、お子さまと一緒に家族で環境について考える機会を提供
- ✓ 子どもたちが描いた好きな食べ物が環境保全団体への寄付につながる「おいちいおえかき」
↳ 描いた絵を「#おいちいプロジェクト」をつけて各種SNSに投稿すると1投稿あたり10円が環境保全に取り組む日本自然保護協会への寄付に繋がり、“食”から環境を見つめなおす機会を創出

■東京ミッドタウン八重洲内の飲食店にて発生した廃油を活用したキャンドルづくり

廃油をリサイクルして、カラフルなキャンドルをつくるワークショップを開催いたします。廃油には東京ミッドタウン八重洲内の飲食店にて発生した廃油の活用を予定しており、キャンドルの色付けには未活用トナーを活用いたします。

夏至の夜に電気を消してキャンドルに火を灯すキャンドルナイトを通じて、日常生活のなかで環境について考える機会を提供いたします。

ワークショップでつくるキャンドルのイメージ▶



■子どもたちが描いた好きな食べ物が環境保全団体への寄付につながる「おいちいおえかき」

「おいちいおえかき」は、子どもたちの無邪気な「おいちい」を守ることを目指す「おいちいプロジェクト」として、子どもたちの「すきなたべもの＝たいせつなたべもの」であると考え、食べ物に想いを馳せる機会の提供を目指す企画です。子どもたちに「すきなたべもの」を描いてもらい、ハッシュタグ「#おいちいプロジェクト」をつけて各種SNSに投稿していただくと1投稿あたり10円が環境保全に取り組む日本自然保護協会へ寄付されます。

ワークショップ内で子どもたちに描いてもらった絵は、6月23日(日)までの1週間、東京ミッドタウン八重洲 B1 YAESU BASEにて展示予定です。



ワークショップ概要

- ・開催場所：東京ミッドタウン八重洲 1F アトリウム
- ・開催日程：2024年6月15日(土)、16日(日)
- ・開催時間：10:00～17:30
- ・所要時間：各回45分間（各回とも開始10分前より受付開始）
- ・申込受付人数：各回16名まで
- ・参加費：無料
- ・内容：①廃油や未活用トナーを活用したキャンドルづくり
②「おいちいおえかき」の実施
- ・主催：株式会社クラダシ
- ・特別協賛：一般社団法人八重洲二丁目北地区エリアマネジメント

※つくったキャンドルや描いた絵は当日お持ち帰りいただけます。

※本イベントはお子さま向けのイベントです。未就学のお子さまは安全のため保護者の方同伴にてご参加ください。

※本イベントは予約制です。以下URLよりお申込みください。

申込ページ：<https://oichii2024-midtown.peatix.com>

電力削減など、東京ミッドタウン八重洲ならではの環境への取り組み

東京ミッドタウン八重洲は、オフィスビルとして国内最大級の「ZEB Ready（※1）」認証取得物件です。共用部においてはLED照明や人感センサーの導入など、オフィス専有部においてはLED照明や昼光センサー、高効率室外機の導入や適正な照明照度の設定などを行い、年間一次エネルギー消費量を同水準の標準的な建物と比べて50%以上削減しています。

また、太陽光パネルの設置や、使用電力をグリーン化する「グリーン電力提供サービス」の導入、電気自動車（EV）充電器を設置するなど環境への取り組みを推進しています。

※1 「ZEB Ready」認証取得対象は、八重洲セントラルタワーの事務用途部分です。

※1 「ZEB Ready」について：ZEB（ゼロ・エネルギー・ビルディング）とは「快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物」のことです。ZEB Readyは、ZEBを見据えた先進建築物として、外皮の高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えた建築物であり、再生可能エネルギーを除き、基準一次エネルギー消費量から50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物と定義されます。

三井不動産グループのSDGsへの貢献について

■ 三井不動産グループのサステナビリティについて (https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/)

三井不動産グループは、「共生・共存・共創により新たな価値を創出する、そのための挑戦を続ける」という「&マーク」の理念に基づき、「社会的価値の創出」と「経済的価値の創出」を車の両輪ととらえ、社会的価値を創出することが経済的価値の創出につながり、その経済的価値によって更に大きな社会的価値の創出を実現したいと考えています。

また、2024年4月の新グループ経営理念策定時、「GROUP MATERIALITY（重点的に取り組む課題）」として、「1. 産業競争力への貢献」、「2. 環境との共生」、「3. 健やか・活力」、「4. 安全・安心」、「5. ダイバーシティ&インクルージョン」、「6. コンプライアンス・ガバナンス」の6つを特定しました。これらのマテリアリティに本業を通じて取り組み、サステナビリティに貢献していきます。

【参考】

・「グループ長期経営方針策定」

<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/innovation2030/>

・「グループマテリアリティ」

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/esg_csr/approach/materiality/

* なお、本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における3つの目標に貢献しています。

目標11 住み続けられるまちづくりを
目標12 つくる責任 つかう責任
目標17 パートナースhipで目標を達成しよう

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

